

Hiroshima Oncology Seminar 2012

～B型肝炎ウイルス再活性化について～

謹啓

時下、先生方におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さてこの度、下記の要領にて、広島B型肝炎セミナーを開催させて頂く運びとなりました。ご多用中のこととは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

謹白

日時： 2012年8月16日(木)19:00～

会場： 広島大学病院 広仁会館大会議室

広島市南区霞1-2-3 Tel:082-257-5098

【情報提供】 19:00～19:10

経口抗ウイルス薬「バラクルード錠」について ブリストル・マイヤーズ株式会社

【特別講演①】 19:10～19:30

座長：広島大学病院 がん化学療法科 教授 杉山 一彦 先生

演題：『当院でのB型肝炎ウイルス再活性化に関する経験』

演者：広島大学病院 消化器・代謝内科 講師 高橋 祥一 先生

【特別講演②】 19:30～20:30

座長：広島大学原爆放射線医科学研究所

腫瘍外科 教授 岡田 守人 先生

演題：

『 B型慢性肝炎治療の進歩と残された問題点

～再活性化・発癌抑制・HBs抗原陰性化を踏まえて～ 』

演者：国家公務員共済組合連合会 虎の門病院

肝臓内科部長 鈴木 文孝 先生

【 総括 】

広島大学大学院医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門

消化器・代謝内科 教授 茶山 一彰 先生

共催：ブリストル・マイヤーズ株式会社/中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム
/広島大学がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン